



一人ひとりの夢・思いを大切に

しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 市原 勝祐
発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
電話 03(3790)4729 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



目次

- (一) らうんじ
- (二) 新年の挨拶
- (三) 新年の挨拶
- (四) しなふくさんぽ
- (五) ボランティア紹介・しなふくの給食「彩・楽・健」
- (六) 豆知識・ボランティア講座案内・しなふくの窓

平成29年度紅葉まつりのコンサートで
品川区障害者地域活動支援センターあえるより
「あえるレインボーハーモニー」の皆さん

らうんじ



理事長 市原 勝祐

あけまして
おめでとうご
ざいます。
福祉経費の
増加に伴い、
今、福祉の現

場では様々な改革が進められています。その中で、昨年四月に施行された改正社会福祉法による法人組織の運営も、新たに問題が生じる度に一つ一つ解決しながら今日に至っています。

現在当法人では、法改正により一定規模を超える法人に義務付けられた会計監査人による監査の準備を、決算に向けて進めています。この監査により、会計の正確性、透明性が確保されると共に、監査の過程において業務改善がなされることとが期待されます。

また、今後ますます増加する高齢者についての対応するかも大きな課題です。

その対策の一つに、昨年五月に開設した多世代交流施設「大井三丁目高齢者憩いの場」があります。床延面積一〇〇㎡程の民家のようなこぢんまりした施設です。利用者は施設の事業に参加すると共に、高齢者も子どもたちもいつでも施設に来て、縁側に座り、気軽に話していくような気分で交流できます。その輪が徐々に広がり、いつか地域福祉の核に成長するよう、皆様のご支援をお願い致します。

新年のご挨拶

今年のモットー



常務理事 小野 孝

「時を見極め、

時を逃さず」

あけましておめでとうござ
います。

皆様には、お健やかに新し
い年をお迎えになられたこと
とお慶び申し上げます。

昨年は、社会福祉法人制度
の改正があり、当法人でも監
査法人の会計監査人を選任し、
また、「大井三丁目高齢者憩
いの場」を開設するなど、新
たなステップの年となりました。
今年も新たな課題に取組
んでいきたいと存じます。

本年もご支援を

よろしくお願いい
たします。



「次代への継承」



事務局長 加藤 久明

新年のお慶びを申し上げます。
新年中は法人運営に際し、
多くの皆様のご協力を得つつ、
様々な課題解決を進めること
ができました。皆様のご厚情
に心より感謝申し上げます。
本年は、さらに法人全体で
人材育成に力を注ぎ、法人の
理念の具現化、利用者サービ
スの質的向上を進めます。我々
自身も自ら資質の向上に向け
意識を高め、次代を担う人材
を育て、法人の文化を良い状
態で継承されるように必要な
研修等、丁寧に手掛けてまい
ります。
本年も何卒よろしくお願い
いたします。

「利用者の皆様の思いや
生きがいを大切にします」

健康に注意し、安心して生
活できるように職員が協力し、
利用者とともに元気で楽しい
かもめ園を作つてまいります。
かもめ園知的

施設長 長野美行

「ご利用者に

寄り添いながら」

長い間にわたり、利用者、
ご家族の皆さまから沢山の
のを頂戴いたしました。感謝
です。いただいた数々の事、
深い思いは、言葉にして伝え
ていかなければと心してお
ります。力を尽くします。
かもめ園知的

かもめ園知的

副施設長 塩川裕子

「安心・安全のサンかもめ」

皆さまにとりまして、夢と
希望にあふれた一年でありま
すようお祈り申し上げます。
健康で働けることに感謝しな
がら頑張りたいと思います。

サンかもめ

施設長 藤井敦子

「日々健康で、穏やかに過
ごせるよう施設支援サー
ビスを向上させていきたく
い」

支援にあたる職員も同様に
心身の健康を保ちつつ、支援
させて頂く喜びが、より体感
出来る様にサポートをしてい
きたいと考えております。
かもめ園身体

かもめ園身体

施設長 奥田美紀

「時間内に

最大限の効果を！」

今法人は変革期です。今後
目指すのは、いかに仕事を時
間内に効率的に行う事ではな
いだろうか。理想論かもしれ
ませんが、それを実践する事
は何より心身の健康を維持す
る為に大切な事です。無理を
しすぎないようにしましょう。
さつき 施設長 日高昭芳

「挑戦と達成」

個人的に半世紀の総決算年
と位置づけ、あらゆる事に不
退転の覚悟で臨む所存です。

品川区立心身障害者福祉会館

館長 荒川敦明

「感謝する気持ち」

皆様にとつて素敵な一年となり、ますますようお祈り申し上げます。一年間何事も楽しんで進んでいけたらと思います。品川区立心身障害者福祉会館

施設長 萩原幸寿

「明るく元気に働ける環境を築き、維持していくこと」

「福祉工場しながわ」は身体をフルに使って働く場です。心も身体も健康であれば何でもできる！今年も元気に参りましょう！

福祉工場しながわ

施設長 石川勝則

「積み重ねを大切に」

新年ということ、新しい事に挑戦をしていきたい気持ちもあります。これまでの積み重ねを大切に、一つ一つ見直しながらしつかりした土台を築いていきたいと思っています。

八潮中央保育園

園長 吉澤利恵

「コミュニケーションの時間を増やし、チームとしての絆を深める」

一人ひとりが持っている力は偉大です。だからこそ、その力を信じ、ひとつに結集できよう努力して参りたいと思います。

かえて荘

施設長 濱本幸子

「入所者の方の持つ力を信じる」

四月からの介護保険制度が、どうなるうとも、入所者の皆さんが元気になるような支援や介護を目指すことに変わりはありませぬ。

中延特別養護老人ホーム

施設長 市本 洋

「ホッとする時間」

余裕のない顔や、不安な顔で訪れる人が「ホッと」した笑顔になれる「そんな場所を作りたい」と思います。

中延在宅サービスセンター

施設長 小山正子

「チャレンジ精神」

昨年は施設長に就任し、周りに協力してもらいながらあつという間の一年でした。三十年度はもう少し気持ちに余裕を持ち、頑張っていきたいと思っています。

八潮南特別養護老人ホーム、グループホーム八潮南

施設長 兼依早苗



本年もよろしくお願ひ致します

「楽しく生きる」

八潮の地は、朝日も夕日も美しく見える街です。その中で地域の皆さんの活力の場になれるといいなと思っっています。変化を恐れず、変化に対応していきたいと思っっています。

八潮在宅サービスセンター

八潮在宅介護支援センター

施設長 菊池広美

「地域ミニデイの発展」

大井地区では、介護予防のための通所型B事業というボランティア主体の地域ミニデイサービスが、三カ月前から大井三丁目高齢者憩の場で始まりました。今年には地域の方々と一緒に、この事業の新たな場所づくりとスタッフの育成に努めてまいります。

大井在宅サービスセンター
大井在宅介護支援センター

施設長 宮田健一

「体と心の元気で皆様に『安心』を！」

在宅介護支援センターの仕事は状況の違う様々な方の話を伺い、その方のニーズをつかみ支援計画を立てていきます。

不安を感じている利用者様に適切なプランと「安心」をお届けできるよう、ケアマネ自身の心と体の健康を大切に一年頑張っっています。

大井第二在宅介護支援センター

施設長 松本利明

しなふくさんぽ vol.2

昨年より始めました企画「しなふくさんぽ」第二弾です！！

品川区の興味深い場所・旬な情報を、編集委員が足を運び取材し、シリーズで年1回お届けしていきます。皆様の何かの行動のきっかけになれば嬉しいです。

さて、今回は、しなふくの「な」について調べてみました。身近な「なぎさ」にまつわる3つの名所？をご紹介します。新年を迎え、ゆったりお散歩してみたいはいかがですか。

『元なぎさ通り』周辺は歴史を感じさせることができる場所です。

南品川一丁目四番地から北に約一・三キ、旧東海道の東側を通るのが『元なぎさ通り』です。この辺りは江戸時代の品川宿の海岸線と言われ、さざ波寄せる渚の場所にあたるのが名前の由来とされています。

路地には昔海岸だったことを偲ばせる『石垣』が残っています。品川宿の石積護岸の名残です。石の大きさや積み方も様々で石が各時代を物語っています。



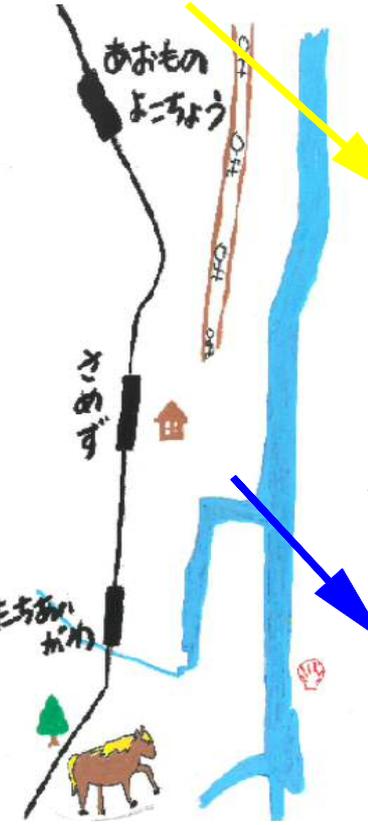
産地の異なる石の変遷が確認できます

『鮫洲なぎさの家』は、平成二十三年四月『福祉工場しながわ』建て替えの際に、旗の台朝やけ（障害者のグループリホーム）を旗の台から移転



地域の方との交流である納涼会はバーベキュー会で楽しみました

・改称しました。鮫洲なぎさの家の名称の由来は、建物がなぎさ通りにあることから名づけられました。現在は、近隣のご理解も得て、地域の皆様と地域交流する機会も増え、楽しく穏やかな日々を送っています。



品川区障害者地域活動支援センターのご利用者の皆さんの合作の地図です。

大井ふ頭中央海浜公園には『なぎさの森』があります。公園の西側（運河沿い）に位置し、自然豊かな公園です。公園内にはそれぞれのエリアがあり、バーベキューや釣りを楽しむことができます。



公園周辺は展望が開けているので、朝日・夕焼けがきれいです！！

また、昆虫や鳥類が多く生息しているので、お散歩ついでに昆虫や鳥の観察をしてみるのがいいですね。公園を散歩しているところ、どこどこ策に出ている彫刻も気持ちを楽しませてくれます。周囲は二〇二〇年の東京オリンピックに向けて整備が進められています。身近な公園がオリンピックでも利用されると考えるだけでもワクワクしますね。

ボランティア紹介

サンかもめ



平成二十七年よりサンかもめで活動されてきた塩田先生をご紹介します。毎月二回サンかもめの利用者が楽しみにされている『音楽活動』を行っていただいています。事前に利用者の方に歌いたい曲を伺い、先生にお伝えし、当日は、塩田先生のピアノ生演奏でとても気持ちよく歌うことができます。塩田先生には、利用者のテンポに合わせて弾いていただくなど、常に利



バラエティ豊かな曲で、楽しませてくださっています。！！

用者に寄り添っていただき、コンサートさながらの雰囲気を作っていたと思います。また、アニメや童謡から演歌、最新曲まで様々なリクエストを叶えてくださり、幅広い世代の歌に触れることができます。歌っている方はもちろん、周りで聞いている方々にとっても楽しい時間となり、いつも大変な盛り上がりを見せています！

サンかもめの活動は、塩田先生を始め多くのボランティアの皆様に支えていただき、利用者、職員一同、楽しい時間と新しい発見を得ています。

かえで荘では、九月十八日の敬老の日に「敬老祝い膳」を提供しました。

献立内容は祝い事にはかせないお赤飯、利用者の希望や季節食材の天ぷらなどです。今年も、いろいろな物を少しずつ召し上がれるよう、一品の量を減らし、品数を増やしました。ご利用者からは、お刺身とデザートの木苺とバナナのムースが好評でした。

また、なめらか食は見た目でも何かわかるように工夫し、舌と上あごで召し上がれる形状にしています。

おやつはスーパ文化堂様に寄贈で頂いたものを提供しました。

デザートは栗やお芋の味のものを盛り付けました。皆様、楽しそうに『どれにしようか

しなふくの食事

「彩・楽・健」くかえで荘



目にも彩り豊かな敬老祝い膳

しら』『二個でもいいかしら』と選ばれていました。

箸置きは、毎年ボランティアの方が送って下さる折り紙が浮き出たハート型、毎年違う形の物を送って下さいます。皆様、「きれいなね」とご自分の部屋に飾られる方もいます。

ご協力頂いた皆様と共に作り上げた、心のこもったお祝い膳となりました。

スキーマの歴史

雪の便りも多くなり、いよいよウィンタースポーツのシーズン。平昌オリンピック開催の年にスキーマの歴史を少し。その歴史は意外と古く、四千五百年ほど前とされ、ノルウェーのレエティという場所の岩に、現在のスキーマ板に似た道具を履いた狩人の図柄が刻み込まれているそうです。

日本ではなぜかスキーマは考案されず、明治三十七年（一九〇四年）、日本とロシアの戦争報道に触れた隣国ノルウェーマークが、明治天皇にスキーマ二脚を寄贈したのが最初のスキーマとされています。

ノルウェーマークは競技スキーマ発祥の地ともいわれ、かつて戦争に参加していたスキーマ部隊もあり、十九世紀後半になると訓練の成果を競う大会が開かれるようになっていま

豆知識

また同国テレマーク地方では、十九世紀前半から子供たちがスラロームやジャンプで遊んでいたとのこと。どちらが本当の起源か定かではありませんが。

日本に初めてスキーマの技術が持ち込まれたのは、明治四十四年（一九一一年）一月十二日、オーストラリア陸軍の少佐が日本の軍人を指導したのが始まりで、まだストックは長い一本杖でした。

ちなみに一月十二日は（財）全日本スキーマ連盟の制定した「スキーマの日」だそうです。



ボランティア講座案内



「園芸ボランティア講座」植物や園芸手法を利用するリハビリテーションとしての「園芸療法」の考え方を学び、福祉援助や地域ボランティアなどへ生かしませんか？是非お申込をお待ちしています。

日時・平成三十年三月二十日（火）十三時～十六時
場所・品川総合福祉センター（八潮五―一―）六階
定員・二十名（先着順）
申込み・電話で三月六日（火）までに申し込み（地域福祉課〇三―三七九〇―四八三九）

しなふるの窓

大井在宅サービスセンターの玄関で、毎日利用者をお迎えしているミシシッピアカミミガメ（通称ミドリガメ）の「バンちゃん」。

十年以上も前のある日、センターに迷い込んできたミドリガメを、何気なく飼いはじめたことがきっかけでした。当時は手のひらに乗るほど小さかったのですが、年月が経つに連れて成長し、今では五〇センチメートルのペトボトルと同じほどの大きさにまでなりました。利用者や近所の保育園児など、みんなの人気者です。



名前の由来は、「鶴は千年、亀は万年」の万です。